

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-245645

(43)公開日 平成7年(1995)9月19日

(51)Int.Cl.

識別記号 庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 04 M 1/57

審査請求 未請求 請求項の数2 FD (全5頁)

(21)出願番号 特願平6-58278

(22)出願日 平成6年(1994)3月4日

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 三瓶 勝

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

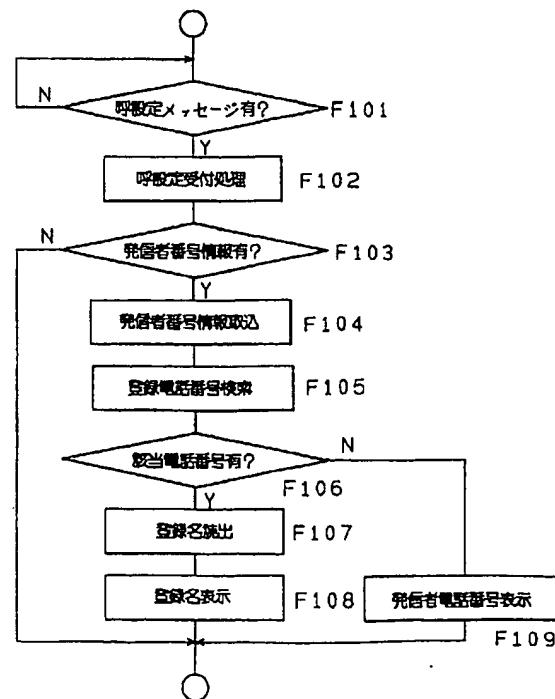
(74)代理人 弁理士 脇 篤夫 (外1名)

(54)【発明の名称】電話装置

(57)【要約】

【目的】 着信時にオフックする前に発信者を確認できるようにする。

【構成】 着信先に発信者側の電話番号情報を送信できる電話網に対応する電話装置において、表示手段と、1又は複数の電話番号を登録名を付して登録しておくことができる登録メモリ手段と、着信時に発信者側の電話番号情報が送られてきた場合に、その電話番号情報と一致する電話番号を登録メモリ手段内で検索し(F103~F105)、一致する電話番号が登録されていた場合は、その登録名が表示手段に表示されるように制御を行なう(F107, F108)。制御手段とを設ける。また一致する電話番号が登録されていなかった場合は、その電話番号が表示手段に表示されるように制御を行なうようにする(F109)。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 着信先に発信者側の電話番号情報を送信できる電話網に対応する電話装置において、表示手段と、

1又は複数の電話番号を登録名を付して登録しておくことができる登録メモリ手段と、着信時に発信者側の電話番号情報が送られてきた場合に、その電話番号情報と一致する電話番号を前記登録メモリ手段内で検索し、一致する電話番号が登録されていた場合は、その登録名が前記表示手段に表示されるように制御を行なう制御手段とを有して構成されることを特徴とする電話装置。

【請求項2】 前記制御手段は、前記登録メモリ手段内で検索した結果、一致する電話番号が登録されていなかった場合は、その電話番号が前記表示手段に表示されるように制御を行なうことを特徴とする請求項1に記載の電話装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、家庭用電話機、携帯電話機、自動車電話機などの各種電話装置に関するものである。

【0002】

【從来の技術】 アナログ電話回線網やISDNによるデジタル回線網等を用いた電話装置は広く普及しており、また電話装置としても近年、単なる通話だけでなく各種の機能が搭載されるようになっている。例えば電話装置に表示部が設けられ、ダイヤル入力した番号を表示するようにしたものも知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、かかってきた電話における場合において、オフフックする前に発信者が誰であるか分かると都合がよいことが多い。例えば電話に出たくない相手からの電話であることがわかったり、或は家族のうちの誰に対する電話であるかなどがわかることなどによって、呼出中に着信側では各種対応がとれることになる。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明はこのような要望を実現するため、着信時にオフフックする前に発信者を確認できるようにした電話装置を提供するものである。

【0005】 即ち、着信先に発信者側の電話番号情報を送信できる例えばデジタル電話網に対応する電話装置において、表示手段と、1又は複数の電話番号を登録名を付して登録しておくことができる登録メモリ手段と、着信時に発信者側の電話番号情報が送られてきた場合に、その電話番号情報と一致する電話番号を登録メモリ手段内で検索し、一致する電話番号が登録されていた場合は、その登録名が表示手段に表示されるように制御を行なう制御手段とを設ける。

【0006】 また、制御手段は、登録メモリ手段内で検索した結果、一致する電話番号が登録されていなかった場合は、その電話番号が表示手段に表示されるように制御を行なうようとする。

【0007】

【作用】 例えばユーザーが登録メモリ手段に、各種の電話番号を登録名を付して登録しておけば、着信時に発信者側の電話番号情報が送られてきた場合、その電話番号情報と登録電話番号の一致検索を行なって相手先（登録名）を読み出すことで、その登録名をユーザーに提示できる。また、発信者の電話番号が登録していない電話番号であった場合は、その電話番号を表示することで、ユーザーはある程度、電話の相手を推測できる。

【0008】

【実施例】 以下、図1、図2により本発明の電話装置の一実施例を説明する。図1は実施例としての携帯電話装置の要部の構成を示している。1はアンテナ、2はアンテナ切換スイッチであり、受信電波の受信系3への供給動作と、送信系4からの送信信号のアンテナ1側への供給動作を切り換える。

【0009】 受信系3は受信された信号に対して局発周波数信号をミックスして中間周波信号（例えば第1IF、第2IF）を生成し、デコード／エンコード部5へ供給する。デコード／エンコード部5では受信信号のデコードを行ない、音声信号、呼設定などの各種メッセージデータの取り出し、発信側電話番号などデジタル回線網から送られてくる各種データの取り出しを行なう。音声信号は音声信号処理部6へ供給され、增幅処理等が行なわれて音声としてスピーカ7から出力される。

【0010】 また、マイクロフォン8から入力された音声信号は音声信号処理部6において増幅、フィルタリング処理等が施された後、デコード／エンコード部5でエンコードされ、送信信号として送信系4に供給される。送信系4では局発キャリア周波数により送信信号を変調し、アンテナスイッチ部2を介してアンテナ1に供給する。

【0011】 9は例えばマイクロコンピュータによって成る制御部、10は動作プログラム等を保持するROM、11は各種演算等に用いるRAMである。また12はキーパッドを示し、『1』～『0』及び『*』及び『#』のキー（ダイヤルキー）が設けられ、さらに、短縮ダイヤル操作キー、リダイヤルキー、電話番号の登録操作キー、保留操作キーなど各種の機能キーが設けられている。

【0012】 13は表示ドライバ、14は液晶表示部であり、表示ドライバ13は制御部9からの表示データが供給されることに応じて液晶表示部4の表示動作を実行させる。例えば発信するダイヤルナンバや各種モード状態の表示などが行なわれる。

【0013】 15はユーザーが入力した電話番号及び登

録名を登録データとして記憶するメモリ（EEP-ROM）を示し、例えばキーパッド12の各種キーによる所定の登録操作に応じて、制御部9が入力された電話番号と、それに対応して入力された登録名を記憶される。このメモリ15としてはEEP-ROM、もしくは不揮発性RAM等の電源遮断時に登録内容が消えないものが好適であるが、バックアップ手段をとれば、DRAM、SRAMなどでもよい。

【0014】16はメモリカードドライバ、17はメモリカードを示し、メモリカードドライバ16によってメモリカードのデータの書き込み／読み出しが行なわれる。このメモリカード17はメモリ15と同様に電話番号及び登録名を登録データとして記憶するものである。この実施例ではメモリ15とメモリカード17を登録媒体として併用しているが、いづれか一方を設けるのでも構わない。

【0015】本実施例の電話装置のユーザーは、メモリ15、メモリカード17のいづれかに対して自分の知人や電話がかかってきそうな相手の電話番号を、その相手の名前、名称、イニシャル、など、その相手先を識別できる任意の登録名を付して登録しておく。

【0016】このように電話番号登録がなされていることによって、着信時に、この実施例の制御部9は図2のように表示制御動作を実行する。着信、即ち呼設定メッセージが受信されたら、まず呼設定受付処理（例えば呼設定受付メッセージの発信等）を行なう(F101, F102)。

【0017】そして、受信データとして発信者の電話番号情報が存在するか否かを判別し、存在しなければ着信時の表示制御としては特殊な処理を行なわない(F103→NO)。

【0018】受信データとして発信者の電話番号情報が存在した場合は、その電話番号情報をRAM11に取り込み(F104)、その電話番号情報をキーワードとしてメモリ15もしくはメモリカード17の登録データを検索する(F105)。

【0019】登録データとして、発信者の電話番号情報と同一の電話番号が存在した場合は、その電話番号に付されている登録名を読み出し(F106, F107)、これを表示データとして表示ドライバ13に供給して表示部14に表示させる(F108)。つまり、登録しておいた発信者の名前などが表示されることになる。また、登録データとして、発信者の電話番号情報と同一の電話番号が存在しなかった場合は、その電話番号情報を表示データとして表示ドライバ13に供給して、発信者の電話番号を表示部14に表示させる(F109)。

【0020】このように登録した相手先から電話がかかってきた場合は、オフフックする前の時点、つまり呼出し中においてのその相手の名前等が表示部14に表示されるため、この電話装置のユーザーは相手に応じて行動をとれる。例えば、電話に出たくない相手であった場合

は、電話に出ないようにしたり、回線を切断してしまうことができる。また、他の人に変わって電話にでてもらったり、もしくは電話による会話を録音する準備を行なうことなども可能となる。また、相手が分かることにより、例えば家族のうちの誰に対する電話であるかも判断でき、それによって電話に出る人をきめることもできる。

【0021】またこの実施例では、相手先が未登録の電話番号であった場合には、その電話番号を表示するようにしているため、ある程度相手を推定でき、同様に対応できる。

【0022】ところで、発信側の電話番号が未登録であった場合は、制御部9が自動的にメモリ15又はメモリカード17へ登録していくようにしてもよく、この場合例えばユーザーが通話中又は通話後に登録名を入力できるようにするとよい。また、取り込んだ電話番号情報を例えば次の着信時までRAM11に保持しておき、ユーザーが通話中又は通話後に登録操作をすることで登録されるようにしてもよい。この場合、ユーザーは電話番号を入力する必要はなく、登録名称のみを入力すればよいことになる。

【0023】なお実施例は携帯電話を例にあげたが、自動車電話、家庭やオフィスでの固定電話など各種電話装置に本発明は適用できる。

【0024】

【発明の効果】以上説明したように本発明の電話装置は、着信の際、オフフックする前に発信先の相手の登録名または電話番号が表示されるため、この電話装置のユーザーは相手に応じて、電話に出なかつたり、電話に出る人を決めたり、録音の準備を行なうなど、好適な行動をとることができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例の電話装置の要部のブロック図である。

【図2】実施例の電話装置の着信時の制御部の表示制御処理のフローチャートである。

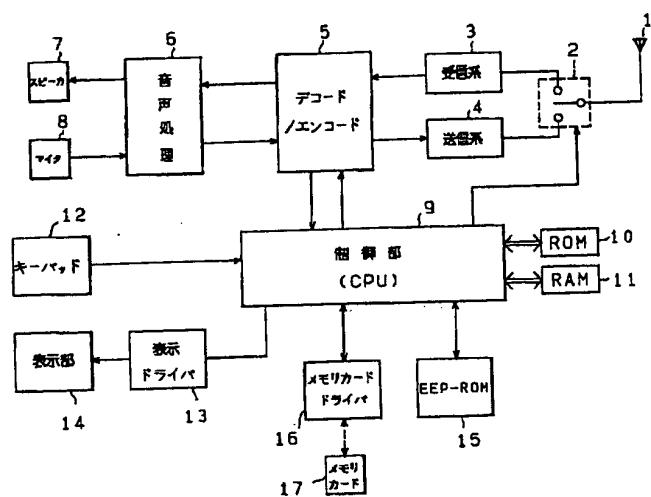
【符号の説明】

- 1 アンテナ部
- 2 アンテナスイッチ
- 3 受信系
- 4 送信系
- 5 デコード／エンコード部
- 6 音声信号処理部
- 7 スピーカ
- 8 マイクロフォン
- 9 制御部
- 10 ROM
- 11 RAM
- 12 キーパッド
- 13 表示ドライバ
- 14 液晶表示部

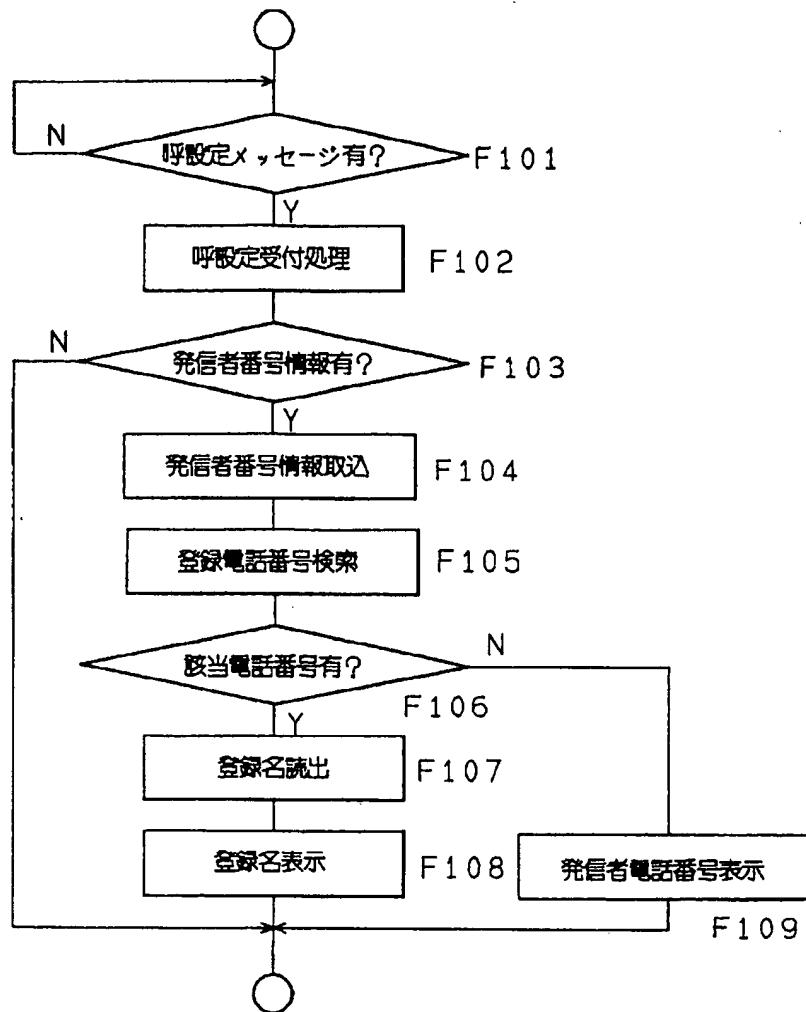
15 メモリ
16 メモリカードドライバ

17 メモリカード

【図1】



【図2】



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-245645
 (43)Date of publication of application : 19.09.1995

H04M 1/57

(51)Int.Cl.

(21)Application number : 06-058278
 (22)Date of filing : 04.03.1994

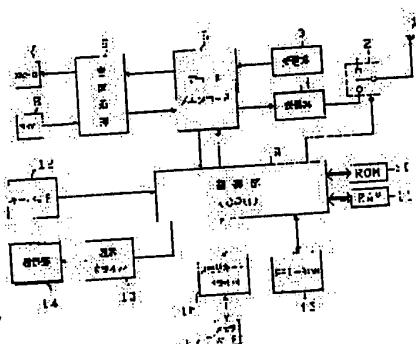
(71)Applicant : SONY CORP
 (72)Inventor : SANPEI MASARU

(54) TELEPHONE SET

(57)Abstract:

PURPOSE: To allow a caller to be recognized before hook-off by retrieving a registered storage content at the arrival of a call, displaying a corresponding content and displaying a telephone number of an opposite party when the content is not registered.

CONSTITUTION: When a telephone number of an opposite party is sent at the arrival of a call, a CPU 9 executing a program stored in a ROM 10 retrieves an EEPROM 15 and a memory card 17 registering and storing plural telephone numbers and a corresponding name or the like is displayed on a display section 14. Only the corresponding telephone number is displayed on a display section 12 with respect to an opposite party not registered through the retrieval. Thus, a caller is recognized before hook-off.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 12.10.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 05.08.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

This Page Blank (uspto)